

SOTO ZEN TEMPLE
SOKOJI (桑港寺)

1881 BUSH STREET
SAN FRANCISCO 9, CALIFORNIA

19

附言として、誠に申す所が、本人希望貫徹の爲、伊子教監痛
いありますが、本人に對し、身元引度証及安否許可證を乞ふ
所下附下さつます様、申上ります。

本人は至つて健康があり、極めて良、西日本人扱ひあり、スタンプカード

入る出身にて、学友、結婚後、禪に因心を持ち、一九六〇年から今日

まで、桑港寺禪センターにて冬禪・夏・シヤンテス・ウイムンさんほ

目下博士課程を勉強中、殆んど学業を完了し、サンフランシスコ

ステートカレッジにて教鞭をとつて居ますが、本年九月から向ふ二年

間は、ポストレ附近の大学で教鞭をとつて居ます。その上、この夏、母が

永平寺参入中は勿論、日本滞在中、一々永平寺一々年、日本文化

研究所一々年計二々年内)は別紙保證書の通り、ウイムン氏の

経済的の保證をすることにあつて居ります。尚、夫妻の両親は

立派な家柄の人々ですから、お山に迷惑のかゝる様な心配は少しも

ございませぬ

SOTO ZEN TEMPLE
SOKOJI (桑港寺)

1881 BUSH STREET
SAN FRANCISCO 9, CALIFORNIA

3.

次に一昨年お世話になりました。ペツケー氏も本年九月から会社を止め
 一家揃って日本に渡って禅の修行に全力を果さげることになりました
 本人はともかく、妻女としては一才と三才と二人の子持ちでありますから
 3. 16 10 65
 3. ① 思ひといまる様申しました。が本人の決意は固く妻女も妻女の母も
 出陣と右のまれましたので、こうして仰願、筆を執しことになったし

ました。妻女の母は相等の家柄の佛口出の人で二ヶ月程前
 3. 16 10 65
 3. ① 碧峯に来て一軒別の家を借りて娘天婦とは別に立派な生
 活をして下さる。念の為、ファイロップウインツ氏の妻女をキャンニース
 及びペツケー氏の母堂の永平寺に對する誓約書を同封いたしました
 五から何卒兩人に對して字居書面許可證及び同封の書式
 による身元保証書至急お申下附下さいませ。様、伏す申す
 お願いありませう。

次にファイロップの得度届は

鈴木先生法蓮下

大法體在萬象 弘法濟衆之
法事每慶日進 仰贊且祝。

拙初 今日午後二時五分乘
飛機自奈良發，歸國。

臨出發直前，為呈授撥
于先生之前，來訪午前十一時
十分。適有禮拜儀式而，不
能拜見先生，歸巢也。

自今後 益賜愛護 仰願。

拙初 自奈良歸國途中，
經 Washington 大學及 Hawaii 大學
及東京而歸國

子 武 在 十
即 燕 水 抄

547-2290

回 气 路 一 二 五 个

開祖 磯部 善仙師が奉 築防長屋 法隆に遷す 同教 善徳 善徳 善徳

十九年 同教 善徳 善徳 善徳

善徳 善徳 善徳

明治四十二年 月 韓併合記念日

朝鮮 仁川に 華洞宗 海外布教の 第一歩は

の 落成式を以て

華洞宗 海外布教の 第一歩は 磯部 善仙師

仁川の 開創して 朝鮮 仁川 華洞宗 寺の 落成式 によつて

行はれ

又 始められ

開創され

磯部 善仙師 によつて

華洞宗 海外布教の 第一歩は 明治 四十三年 八月 廿九日は

日 韓 併合 祝典の 礼 砲 加え 地ル 高 韓 中 には 旅す

仁川 華洞宗 寺の 落成式 によつて 開創され

加 磯部 善仙師 によつて

中に 日 出 友 友 落成式 を行つた 朝鮮 仁川

華洞宗 寺は 宜内 旅す 海外に 旅す 仁川

最初 寺 あり

四

二時 一行栗山 — 会食 (三松)

七時半 文供 夏良

九時 神也文 — 会食

会曜

(三時半)

八時半 — 会殿 (一時 — 四時半) 出向 — 会食

会殿

(七時半)

総監 鈴木

2.

6.

萩原

松下

星野

菅原

西田

川尻

山本勝俊 道三田 智光

全剛秀一 中根 專正

東馬 道断 松坂 秀一

山口 秀孝 南 繁州

吉園 棟一

9

Book of invite letter